

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.12)

PCB廃棄物処理事業検討会第8回豊田事業部会で試運転計画を検討

3月11日(金)に日本環境安全事業株式会社(JESCO)のPCB廃棄物処理事業検討委員会第8回豊田事業部会(主査:田中勝岡山大学教授)が開催され、4月中には建物がほぼ完成する豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)の試運転計画について検討しました。

今回の議事は、5月から8月にかけて実施する豊田施設における(1)試運転の概要(①基本的な考え方、②試運転計画の留意事項、③試運転の構成・工程・試験の概要)、(2)PCB廃棄物負荷試験の詳細(①試運転の対象物、②処理性能の確認、③環境保全性能の確認、④作業環境性能の確認)、(3)試運転に係るその他の重要事項(①試運転の体制、②緊急時の体制)についてJESCOから説明し、各委員から質問や意見を聴取しました。

これらの意見を踏まえて試運転計画を修正し、5月から開始する試運転により前記の事項を一つずつ確認し、PCB廃棄物の処理が安全で確実にできることを十分に検証して、操業に備えていきます。



愛知県内のPCB廃棄物保管・使用事業者説明会

3月17日(木)豊橋会場、3月24日(木)名古屋会場の両日に、愛知県と県内の保健所設置市との共催でPCB廃棄物保管・使用事業者説明会が開催されました。

豊橋会場では、約400の事業者の関係者約450名が、名古屋会場では、約1,300の事業者の関係者約1,400名がそれぞれ出席され、2時間半の説明を熱心に聴聞されました。

説明会は、始めに市(豊橋市又は名古屋市)から廃棄物処理法及びPCB特別措置法に係る事業者の責務が説明され、続いて愛知県より愛知県PCB廃棄物処理計画が示され、早期処理(平成20年度までに半減)とその間の適正保管、並びに多量保管事業者(トランスやコンデンサを20台以上保管又は使用)の方には、平成17年度中に処理計画を立て報告するようにそれぞれ要請されました。

JESCOからは、豊田施設の概要と安全性の確保、早期登録・調整協力割引、中小企業の処理費用の軽減等について説明しました。



豊橋会場



名古屋会場

非常用発電機の工場検査立会

豊田施設のPCB廃棄物処理設備は、全て電気で稼働するとともに制御もしています。このため、地震や雷などにより停電が生じた時は、作業環境を維持しながら、全ての装置が安全な状態で停止できるようにする必要があります。



そのため非常用発電機と無停電電源装置(蓄電池)を備えており、蓄電池で停電になっても測定・制御装置が通常と同じ働きをするように維持します。

一方、停電発生と同時に、非常用発電機が稼働を始め、換気装置等の作業環境維持装置を作動させるとともに、稼働途中にある各種機器を安全な状態にした上で停止させます。

この非常用発電機の工場検査を3月18日に兵庫県明石市にある発電機メーカーで行いました。

東海地区広域協議会による現場視察

3月25日(金)に、「平成16年度第4回PCB廃棄物処理に係る東海地区広域協議会」が豊田産業文化センターで開催された後、東海4県と同県内の保健所設置市の方々が、豊田施設を視察されました。操業を開始すると市民の皆様をご案内する見学者通路からプラントの処理設備の設置状況や処理工程などを説明いたしました。



工事の状況 非常用発電機設置完了、外周足場解体開始



非常用発電機

工場検査を実施した非常用発電機(定格出力3000KVAガスタービン式)を、3月21日(月)に搬入し施設内に据え付けました。現在は機器の搬入・据え付けもほぼ完了し、調整作業を開始しております。

建物全体工事も最終段階を迎え、外壁塗装が完了したところから外部足場の解体を開始し、管理棟が姿を現しました。

また、管理棟2階のピロティ部は、来客者や処理物の搬入口となりますので、防水処理を施した後、保護コンクリートを打設し表面にエポキシ系塗床を施工しています。



管理棟外観



2階ピロティ シート防水施工状況

今月の工事予定

4月 処理設備：1～7階ダクト配管電気計装工事、機器据付確認、耐圧検査、試運転
建築：給排水衛生・電気工事、間仕切り・天井ボード貼り、EV工事、塗床工事
浄化槽・用役排水槽・防火水槽工事、機器運転調整
試運転：配管・電気計装チェック、単体作動試験、スクラップ油受入・通液循環

施工者から一言

3月は、屋上アスファルト防水及び外壁塗装工事を行い、完了した所から外部足場の解体作業を始めました。また、4月の特別高圧受電に向け、特高受変電所の耐圧試験を実施し、受電準備を進めています。一方処理棟内部では、仮設電源による機器の単体動作試験を実施し、安全操業に向けた調整作業を行っています。液処理エリアでは、配管電気計装工事を施工し、防液堤内の塗り床工事を進めています。

4月は、配管電気計装のチェックを行いながら、各種官庁検査を受検していきます。また、受電後は、本設電源を使用し各設備の動作試験及び配管内の通液・循環調整を実施します。

3月末時点で、入場作業員は800人/日を超え工事の最終段階を向かえています。工事の輻輳作業に加え、回転機器等への巻き込まれ災害に十分注意し、安全に処理が出来るよう機器の最終調整を行ってまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

クボタ神鋼環境(豊田)異工種建設工事共同企業体
代表者：株式会社クボタ
構成員：株式会社神鋼環境ソリューション

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)
(連絡先) 豊田事業所 0565-37-7226